

デイサービス ひろがりナリ

第17号

発行日：2015年9月30日
発行回数：年2回発行
発行者：デイサービスひろがりサロン
責任者：小椋 純子
連絡先：045-962-2775
活動場所：横浜市鴨志田地域ケアプラザ
2階多目的ホール
-----活動概要-----
活動日時 月曜日 10時～15時30分
(除く第3月曜日)
料金 利用料 700円
食事 500円 (昼食・おやつ)
その他 介護保険とは関係なく利用できます

バス遠足

藤平 洋子

六月八日は心配した雨も降らず、総勢二十六人、朝十時にケアプラザを出発しました。

ちょうど一時間の道のりで、国技館の前に到着。朝稽古帰り？のお相撲さん達と遭遇しましたが、突然のことで写真も撮らないうちに皆行つてしましました。残念！でも両国の雰囲気は少し味わえた気がします。

昼食は両国駅西口のガード下、磯丸水産です。二十四時間営業の漁港の魚市場食堂の雰囲気が売りの海鮮食堂です。ランチメニューは海鮮丼と握り鮓です。お椀を付けて千円位。ちょっと汚い所に、皆できゅうぎゅうに入つて一緒に食事が出来ました。

食後、相撲博物館を見学。歴代大関、横綱の化粧回しの展示を見て浅草に向け両国を出ました。トイレのついでに国技館の中を覗いた人もいたようです。

いよいよ到着した浅草は人人人。決められたグループに分かれて、早々に皆さん段取り良く？人混

みに散つて行きました。私はただ迷子にならぬよう、時間に帰つてくれるよう後ろ姿に祈りました。

私たちのグループ四人が一番にしたことは、境内の常香炉で他の人が供えた線香の煙を頭中心にかけまくりました。浅草寺本堂では小銭が無く、私が賽銭箱に入れた十円玉で願掛けしました。一人はクリスチヤンなので拝まなかつたと思います。三人で十円では何の御利益もあるはずがありません。今思い出しても笑えます。

浅草寺を後にして、仲見世通りへお土産を物色に行きました。お決まりの人参焼きと雷おこしをゲット。おやつは梅園で甘味に舌鼓を打ち、また、浅草寺の方へと引き返しました。

雷門の近くの観光案内所上階でコーヒー飲んだ人は、景色が一望でき、とても良かったと言つていました。

私達は、花やしきそばの商店街のレトロなコーヒー店で残りの時間を過ごしました。その店の女主人の弟さんはアメリカにいるそうで、送られてきたルート66の道路標識が壁に掛けてありました。少

し小さい気がしましたが本物でしょ。トロイドナヒューの映画を見ていた頃を懐かしく感じさせてくれました。

いつも車イスの乗降補助のため、どおりに二天門を出発、予定通り四時にケアプラザに帰つて来られました。

男性のガイドさんをお願いしていましたが、今回は横浜市福祉バスからの変更依頼で、女性のガイドさんと一緒しました。おかげで知つていいようで知らない東京の街のいろいろも教えていただきました。

私の万歩計は七千十五歩でした。翌日、関東地方は梅雨入りをして、滑り込みセーフ。

皆さん本当にお疲れ様でした。



ホワイトボード

内海 和代

今日は何の絵にしようかな」と朝、白板の前でマジックペン片手に考えます。なるべく季節感のあるもの、愛らしい子供や明るく楽しい内容、最新のニュースや利用者さんに関するもの等をテーマに選ぶようになります。

「うつす原画など）何もないのにどうして描けるの？」と聞かれることがあります。自分で

はあまり意識しないのですが、日頃から周囲をよく観察する目を養えればどなたでも描けると思います。私はただ絵が好きなだけ。その日の出来不出来はご容赦頂くとしてまあ何とか形になるのですね。白板を見た皆さんのが少しでも笑つたり懐かしくなり元気が出たと思って頂けたら私としては嬉しいなと思います。

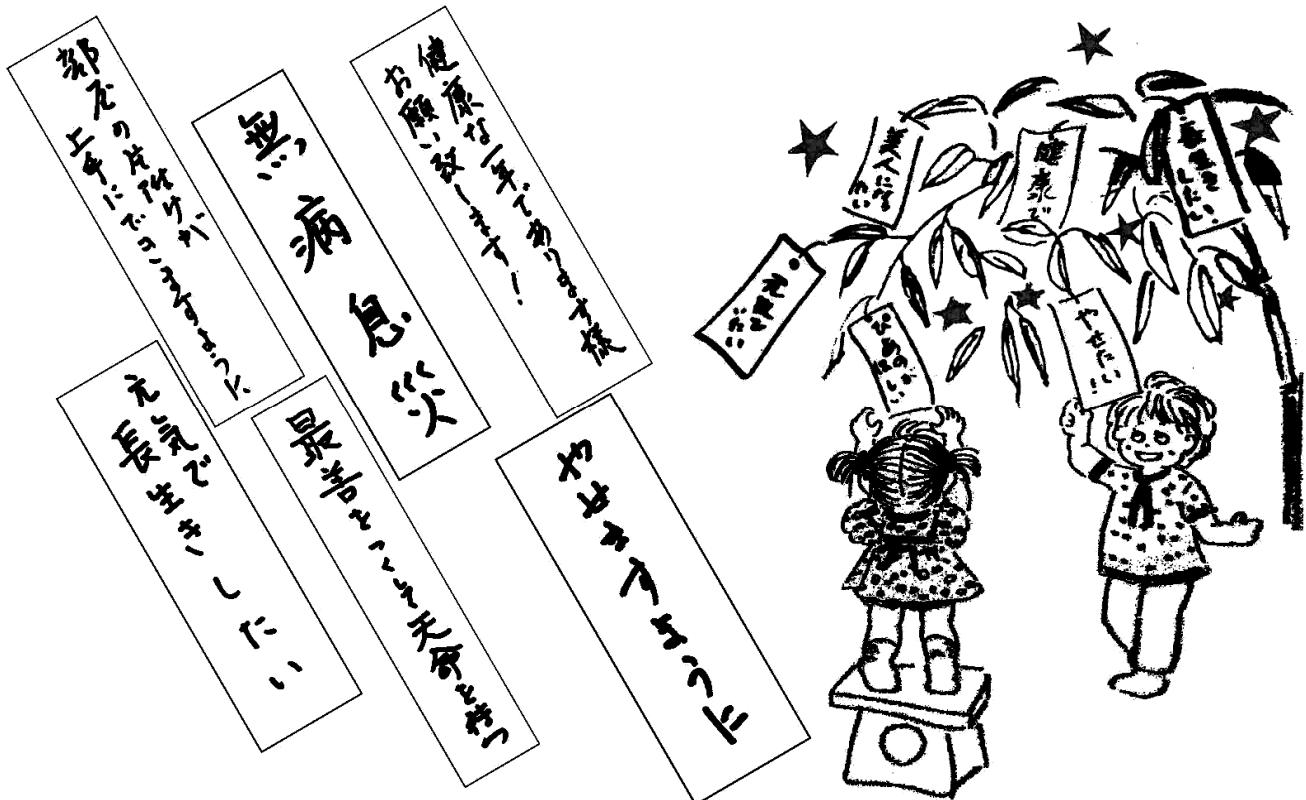


でいる姿を描きました。それを見たSさん「私若い頃、山で本当にこんな風にしていたの、よくわかったわねえ！」と満面の笑顔です。たいへん気に入って頂き、いい記念になつたと喜んで下さいました。それは山や自然が大好きだったSさんなら多分そうしただらうと想像しながら描いたものでした。今頃はきっと天国でひろがりサロンで過ごした日々や、懐かしい人々を思い出して下さっていることだと思います。

私の拙いマンガのような絵に到底力があるとは思えませんが、

せめて一瞬でも笑顔にできたらこんな嬉しいことはありません。さあ今度は何を描こうかしら？

2015/07/06 に七夕祭りを行いました。



数年前のSさんのお誕生祝いの日。青空の下、花咲く高原にSさんが笑顔で寝そべって寛い

私を変えてくれたもの

石井光代

キッチンでお手伝いをするようになって、二年余りが過ぎました。もともと好き嫌いが多く、意欲もあまりなく、料理も苦手でした。そんな私が今、おいしいものを食べたいという意欲もあって、料理も苦手でした。そんな私が今、おいしいものを食べられる幸せを感じています。

子どもの頃の私は食べず嫌いで食べられないと思っているものがたくさんありました。小学校に入学して、まず最初に困ったのが給食。家では食べたことがないものが出て、毎朝学校に行きたくないと言つて、母を困らせていました。でも一年が終わる頃には何とか残さず食べられるようになり、その後、人生の半分以上も給食を食べ、牛乳、乳製品、レバーも食べられるようになりました。給食のおかげです。



なら、遠くへ行くのもいとわない人でした。おかげで、今まで

食べようとも思わなかつたものを食べたり、料理したりするようになりました。でも、料理は相変わらず苦手で、できればさて通りたいと思っていました。

でも、この頃何だかキッチンにいるのがたのしいのです。キッチンで作る料理は手抜きをしない、きちんとだしをとる、何でも手作り、食材も良いものを、そして何よりも作っている人達が楽しそうです。おいしい料理を食べてもらいたいという気持ちがこもっているように思います。ちょっと遅すぎましたが私もそんな気持ちになってきた今日この頃です。

私は、西瓜割りはこわいです。何故かというとタオルで目を覆うのでも見えなくなり真暗になるからです。そんな時は、目が不由でも、頑張つておられる大日方さんを尊敬します。今年は田中さんが、はっぴを譲り受けて持つて下さつて、賑やかでした。

「夏まつり」というと、故郷の熊本を思い出します。自治会と子供会と一緒にゲートボール場に、檜(やぐら)をくんで夏まつりをした事があります。二十五、六年のことです。花火、サイダー、かき氷、カラオケがありました。最後は、老若男女、檜を囲んで、盆踊りをしたものです。

夏まつり

古賀つぎ子

小さかつた頃とかに、夏まつりの思い出が有らることでしょう。今年もどうにか夏まつりを終える事ができ、ほつとすると共に、内海さん、羽田さん、キッチンの方々、その他お世話になつた方々に、感謝しています。



胆石

荒木正三

若い頃、健康診断で胆石が見つかった。医者に「何も心配ない、一生そのままとておく人もある。」と言われていた。

ところが、七十八歳となつた

今になって、急に腹痛を起こした。痛み止めを飲んで楽になつたが、念の為、大学病院で検査を受けることにした。

MRI検査と言って、強い磁石と電波を使つて体の断層画像を撮影する狭いトンネルの中に入つて写真を撮る。三十分くらいかかるらしい。閉所恐怖症の人は、前もって申し出でください。」と言われたが、そんな弱虫なことは言えない。しかしガーッと音があるたびに不安になつた。

後日、写真を見ながら専門医の診断を受けた。胆のうと胆管に石がある。大きいものは直径二十ミリ。手術で胆のうごと切り取るのが普通です。」といわれた。すぐには返す言葉がなく、黙つていた。すると、飲み薬で、しばらく様子を見ましょ

という事になり、二ヶ月分の薬を出してくれた。

しかし、薬で胆石が溶けて無くなることは無いらしい。二ヶ月後には、また、手術の話が出るのだろうか。手術となると一週間の入院となる。

入院も、手術も初めてのことです。その結果は次の時にお知らせします。

ホームページは次のところにあります。
http://www.geocities.jp/hirogari_salon/
(「ひろがりサロン」で検索してもOK。)

2015年度 活動予定

2015/

9/7, 14, 28
10/5, 12, 26
11/2, 9, 23, 30
12/7, 14, 28

2016/

1/11, 25
2/1, 8, 22, 29
3/7, 14, 28



ひろがりサロンは
あおばふれあい助成金
年末たすけあい配分金
を受給して活動を行つて
います。

＊＊編集後記＊＊

* 九月の初めに鬼怒川の堤防が決壊するなどして大きな水害が発生しました。鴨志田の近くでは特別の被害はなかつたようです。しかし、近くにある鶴見川は一昔前まで暴れ水位が上昇するなど整備されていました。最近は、排水ポンプなどを設置して、水害が起らなくなっています。しかし、予想外の大暴雨になると水害が起るかもしれません。その時、お年寄りなどはどこに避難所に導くかが重要かもしれません。

(高山)